

時刻合わせの流れ

1. 電源投入

2. デジタル親時計の設定

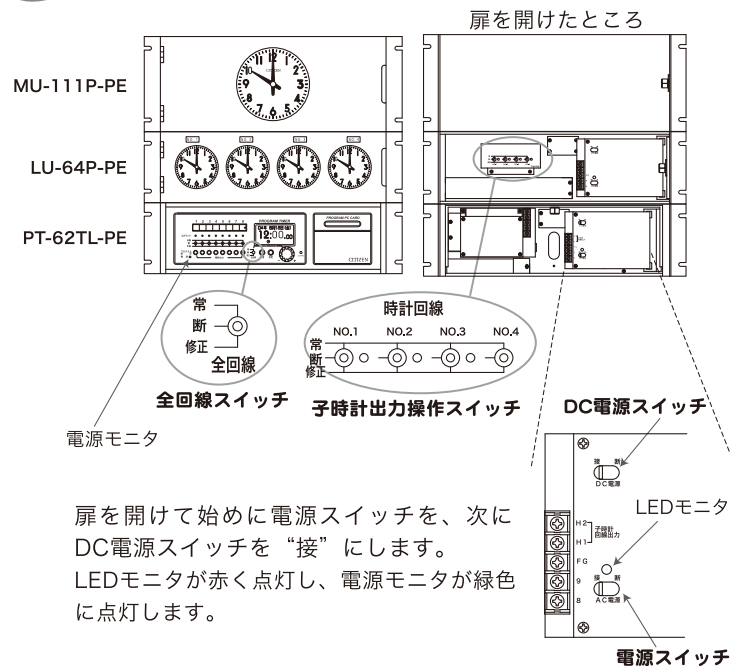
3. 主モニタ・回線モニタ・
回線の子時計を同時刻に合わせる

4. 各アナログ時計を親時計に合わせる

1. 電源投入

Check!

全回線スイッチと子時計出力操作スイッチが“断”になっていることを確認します。



液晶モニタが親時計設定表示になります。
初期設定は、2004年1月1日12時00分00秒です



※日付・時刻の設定方法については
【2.デジタル親時計の設定】を参照
してください。

もしも

時計表示に画面が切り替わって
しまった場合

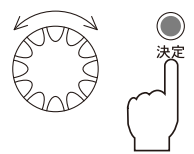
【決定ボタン】を押してメインメニューを表示させて、時刻合わせ→親時計を選択し、親時計設定画面を表示させます。

子時計が一斉に早送りした場合
(バックアップ機能が有効になっています)

【取消ボタン】を3秒以上押して早送りを解除し、子時計の修正を行ってください。

2. デジタル親時計の設定

年→月→日→時→分→秒の順に、ジョグダイヤルと決定ボタンで設定します。



設定後、時計表示画面になります。
「☺」が点滅します。

また設定せずに長時間放置しておく
と時計表示画面になります。



順番	設定範囲	注意事項
1 年	00～99	西暦のみ設定で2000年～2099年
2 月	1～12	1月～12月
3 日	1～31	応答日がないときは1に、末日は年と月により計算
4 時	0～23	24時間制
5 分	00～59	0分～59分
6 秒	00～59	任意の秒で秒合わせ可能。

時計表示画面での親時計の設定

ここでは液晶モニタが時計表示画面に切り替わってしまった場合の設定方法を説明します。



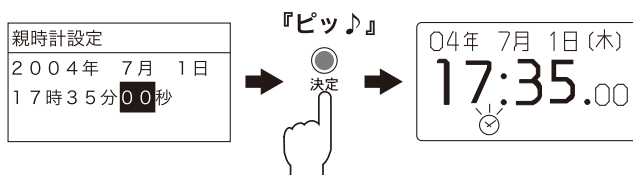
1 液晶モニタが時刻表示の時、決定ボタンを押すとメインメニューが表示されます。【時刻合わせ】が選択された状態で、決定ボタンを押します。



2 【親時計】が選択されているのを確認して決定ボタンを押すと時刻設定画面になりますので、現在時刻を設定してください。



3 秒まで設定できたら、決定ボタンを押します。設定完了を示すブザー音が鳴ります。
修正された時刻が表示され、「☺」が点滅します。

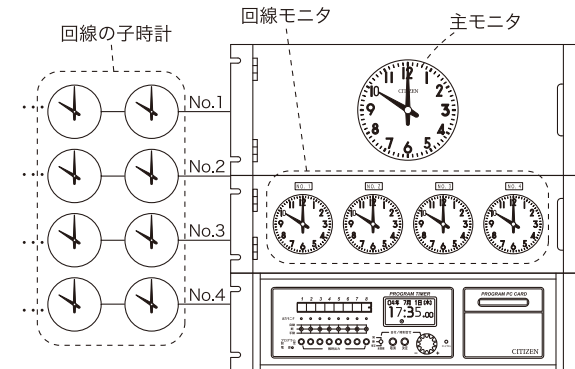


3. 主モニタ・回線モニタ・回線の子時計を同時刻に合わせる

Check!

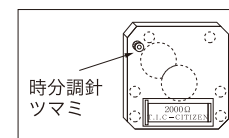
全回線スイッチと子時計出力操作スイッチが“断”になっていることを確認します。

すべての回線モニタと各回線に接続されている子時計、主モニタをすべて同時刻にします。



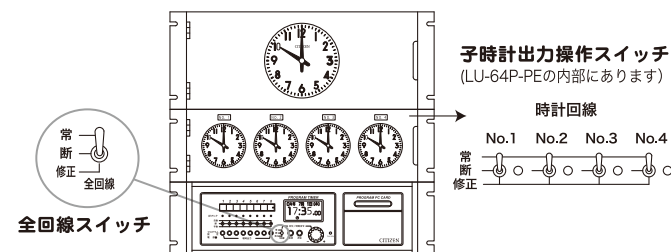
時刻がずれている場合は、各時計の裏面の子時計機体の時分調針ツマミを回して、時刻を合わせます。

例) ここではすべて10時に合わせています

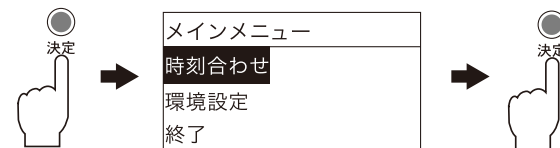


4. 各アナログ時計を親時計に合わせる

1 全回線スイッチと子時計出力操作スイッチを“常”にします。



2 液晶モニタが時刻表示の時、決定ボタンを押すとメインメニューが表示されます。【時刻合わせ】が選択された状態で、決定ボタンを押します。



もしも

前画面に戻る場合

【取消ボタン】を押すと、前画面に戻ります。

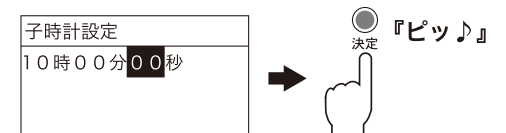
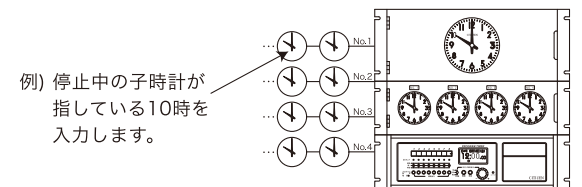
3 ジョグダイヤルで【子時計】を選択し、決定ボタンを押します。



※決定ボタンを押すと、
次の時刻設定をする
まで各アナログ時計
は停止します。

4 ジョグダイヤルで各アナログ時計の表示している時刻を入力します。秒まで設定ができたら決定ボタンを押します。設定完了を示すブザー音が鳴ります。

※秒は00秒または30秒を設定します。



5 アナログ時計の一斉調針が開始され、主モニタ・回線モニタ・回線の子時計が早送りを始めます。
調針中は「☺」が点滅し、時刻修正が完了すると消えます。



もしも

子時計一斉調針の解除

子時計修正中に、取消ボタンを3秒以上押すと解除されます。ただし、強制解除の操作を行った後は必ず子時計修正を行ってください。誤った時刻表示などの原因になります。

時刻合わせ完了